



「議員活動の自己評価」!

平成25年度分（平成25年4月～平成26年3月）

平成17年分の議会活動から始めた議員の自己評価は、今回で9回目となります。議員自己評価は、10名から提出がありました。右表のとおり5分野について具体的に取り組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の149項目中、「○ほぼ満足」は71件で48%、「△努力が必要」は66件で44%、「▲さらに努力が必要」は12件で8%となりました。

次に、「結果の評価」については、項目全体の149項目中、「○ほぼ満足」は45件で30%、「△努力が必要」は65件で44%、「▲さらに努力が必要」は39件で26%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が48%であるが、結果の評価では30%と大きく差があります。このことから、今後も各議員の取り組みが今まで以上に結果として反映されるように努力する必要があります。

また、議員個人としての活動について、1名の議員から報告がありました。

□ 自己評価は次の指針により実施しています。

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度（居眠り、私語など）、審議の態度（品位の保持、審議への協力度）
2. 監視評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで指摘した事項が改善されたか。また、政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取組み評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。

○議員別の評価集計

議員名	平沼昌平		佐藤孝男		滝川明子		花田 勇		木村 隆		藤山 大	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	8	3	2	2	8	6	4	0	11	10	9	3
△ 努力が必要	6	6	6	5	9	8	2	5	1	1	5	10
▲ さらに努力が必要	0	5	1	2	3	6	0	1	1	2	0	1
計	14	14	9	9	20	20	6	6	13	13	14	14

議員名	川村明雄		熊野茂夫		平野隆雄		溝部幸基		合計	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	14	9	10	8	3	2	2	2	71	45
△ 努力が必要	7	8	0	2	8	9	22	11	66	65
▲ さらに努力が必要	0	4	0	0	1	1	6	17	12	39
計	21	21	10	10	12	12	30	30	149	149

〔分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」＝取組の評価 「結果」＝結果の評価〕

○議員個人としての活動

	溝部幸基
報告会等の実施	4
議員だよりの発行	—
個人ホームページの開設	○
その他	—

●議員活動の目標（公約）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。

本年度は、10名の議員で総数142項目（昨年度：10名提出 140項目）となりました。

【個人票はP24・P25に掲載しています。】

「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類： ○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

評価期間：平成25年4月～平成26年3月

平沼昌平 58歳

議会運営委員会委員長、経済福祉常任委員 議員歴9年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	定住促進・雇用の場の創出に向けての提言	○	△
	町民視点での行政運営推進に対する提言	○	▲
財政	健全な財政運営と効率的な事務事業の推進に対する提言	△	△
経済	地場産業の保守と雇用の創出に向けた提言	△	▲
	農林水産業に関する基盤整備と経営安定化への提言	○	△
	町内のインフラ整備と建設・土木事業の推進への提言	○	▲
	後継者育成と定住促進に向けての提言	○	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	町民の予防医療の推進と健康福祉への提言	△	△
	高齢者の生活環境整備とサポート体制への提言	△	○
教育	歴史・文化に対する町民意識向上と文化財の保護への提言	△	△
	生活習慣・基礎学力向上に向けた提言	○	▲
その他	水道事業の将来的方向性と対応についての提言	○	○
	松前半島高規格道路整備推進に向けた提言	○	△
	防災体制の施設整備と環境整備の在り方について提言	△	○

佐藤孝男 64歳

総務教育常任委員、
渡島西部広域事務組合議会議員 議員歴19年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	防災対策の推進（冬季対策、全町あげて訓練）	△	▲
財政	将来に希望が持てる財政健全化の取り組み	△	△
経済	農業・林業・水産業の振興（鳥獣被害対策の取り組み、遊休農地活用の推進、ナマコ放流事業の推進〔試験場視察〕）	△	△
福祉	吉岡温泉の今後の対策（改修か新築か）	▲	▲
	デマンドバスの再調査	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	学校給食センター 地産地消の取り組み	○	○
その他	各種事業への参加	△	△
	町内会活動の参加	○	○
	プレミアム付商品券発行の継続	△	△

滝川明子 72歳

総務教育常任委員、議会運営委員会副委員長 議員歴23年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	防災の町づくり（戸別無線機の設置事業前倒しを〔常任委員会〕）	○	○
	男女協同参画の推進（役場庁舎内のハラスメント防止対策は〔一般質問〕）	△	△
	職員の接遇マナーの手引「さわやか対応ブック」を作成しては〔一般質問〕	△	△
	松前半島道路について〔一般質問〕	△	△
	女性模擬議会について〔一般質問〕	△	△
	佐藤町長の辞職勧告決議に反対討論	○	▲
	住宅リフォームの助成を	▲	▲
経済	若者雇用の場づくりを中心に定住対策の推進（企業振興条例に賛成討論）	○	▲
	特養ホームの増床	▲	▲
福祉	介護保険の適用改善	▲	▲
	ゆとらぎ館の建替、コンパクト、シンプルに建替を〔常任委員会〕	△	▲
	こころのホットラインの開設を〔一般質問〕	△	△
	宅配電話帳の作成を〔一般質問〕	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	学校給食を中心に食育推進、食育授業の一つとしてバイキング給食継続を〔予算審査特別委員会〕	○	○
	高校存続対策推進 児童生徒と保護者に手紙や訪問など積極的働きかけを〔予算審査特別委員会〕	△	△
	生涯教育、社会教育の充実 DV対策を〔一般質問〕	△	△
	敬老会の記念品について〔予算審査特別委員会〕	○	○
	いじめ、体罰防止条例の検討を〔一般質問〕	△	△
その他	議会基本条例に基づく活動の推進（活発な討議、討論）	○	○
	生活相談活動	○	○

花田 勇 73歳

経済福祉常任委員、議会運営委員 議員歴 3年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	議会と行政側との意志の疎通が取れるような活動をしていきたい。又、町民の皆さんには一人でも多く傍聴してほしい。	△	▲
財政	今後は予算の必要な大きな事業が数多く有るのでムダのない財政運営をして行かなければならない。そのためにも厳しいチェックが必要と思う。	○	△
経済	ちょっと暮らし事業について受け入れる体制作り等が必要。又、町の各施設等の老朽化による建替えや耐震問題など数多く問題があります。	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	介護保険の財務内容の立てなおしが大事。温泉施設の改修か建替えの問題をテーマに取り組んでいきたい。	○	△
教育	最近、道徳教育が叫ばれています。学校教育や家庭教育においても道徳教育は大切と考えている。それがいじめを無くする事になると思う。	△	△
その他	一次産業で有るナマコ養殖、又、ソバ、ブルーベリー等に対する生産者の育成に力を入れたい。	○	△

木村 隆 34歳

経済福祉常任委員長、
渡島西部広域事務組合議会議員 議員歴 7年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	光ケーブル敷設に伴う利活用の明確化	○	○
	空き家管理・解体の方策を検討	▲	▲
	総合計画条例の明確化	○	○
経済	延期されたちょっと暮らしの必要性を含む、新幹線開通に向けた観光	○	△
	森林の利活用調査（バイオマスなど）	○	○
	養殖事業の展開調査	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	継続利用調査となったデマンドバスの必要性の明確化	○	○
	吉岡温泉の修繕か建て替えかの方向性検討	○	○
教育	社会体育事業の協力と推進	○	○
その他	青年部活動をはじめとする地域活動	○	○
	渡島西部広域事務組合のチェック	○	○
	問責決議後、佐藤町政への意識変化のチェック	○	○
	自民党政権下における近隣町議員と連携した中央とのパイプ作り	○	○

藤山 大 39歳

経済福祉常任委員 議員歴 5年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	住民（町民）からの要望を政策提案	○	△
	安心安全な町を目指しての防災対策	○	○
	笑顔での行政対応	△	△
財政	町内景気の活性化と行政サイドのスピーディーな対応	△	△
	財政健全化への取り組み	○	△
経済	町が誇れる特産品アビール（するめ、昆布、しいたけ、古代米、味来、ブルーベリー、ナマコほか）	○	△
	観光活用による町内経済の活性化（千軒岳、横綱ビーチ、両記念館、温泉ほか）	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	予防医療の推進	△	△
	独居の方々との地域コミュニティ	△	△
教育	高校存続への努力	○	○
その他	部活動の強化、指導、支援	○	△
	ボランティア活動の参加	○	○
	伝統行事の存続と支援と参加（松前神楽、荒馬、四ヶ散米、奴、七福神ほか）	○	▲
	未来を担う子供達の支援と指導	△	△

川村明雄 68歳

総務教育常任委員会副委員長、議会運営委員、
監査委員 議員歴 6年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	定住及び少子化対策への政策提言	○	△
	防災計画の議論、提唱	○	△
	原子力発電からクリーンエネルギーへの意識改革とその推進	△	▲
財政	過疎地域自立促進計画に基づく着実な推進	○	△
	各施設の利用者増加考察と収入維持対策への提言	△	△
	ナマコ等特産品の生産と施策	△	△
経済	「福島町ブランド」の考察展開と人材対応	○	○
	空き家の利活用対策の推進	△	▲
	子育て支援問題への対策	○	○
福祉	高齢者に住みやすいまちへの変革推進	△	▲
	若者等への国民年金関心度の高揚	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	生涯学習及び人材育成推進対策	○	○
	福島高校存続対策の強化推進	△	△
その他	議会基本条例及びまちづくり基本条例に基づく活動と推進	○	△
	町内会活動及び団体活動への参画理解	○	○
	文化活動への参画、ボランティア活動の実践	○	○
	町民生活相談等への対応	○	○
	町内の美化及び環境問題の考察	○	▲
	付加価値の高い一品の創設及び地産地消思考	△	○
	未来の魅力あるまちづくりへの提言、議論等	○	○
	各種研修会、講習会への参加	○	○

熊野茂夫 64歳

総務教育常任委員長、議会運営委員 議員歴3年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「総合計画条例」の制定の推進	○	○
	各公共施設の整備・改修と再編への提言	○	○
	「総合防災計画」制定の推進と諸提言	○	○
財政	財政健全化の取組み (将来を見据えた予算の編成及び決算審査)	○	○
経済	水産業 農林業、商工業への提言 (農・漁組等、各公共団体への行政の諸支援策等)	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	高齢者が利用しやすい公共施設の改修への提言	○	△
	介護保険とその健全な財政運営への諸提言	○	△
教育	教育環境の再編と充実	○	○
	小・中学生の基礎学力向上への提言	○	○
その他	生活環境の改善への提言	○	○

平野隆雄 65歳

副議長、総務教育常任委員、経済福祉常任委員、
広報・広聴常任委員長、渡島廃棄物処理広域連合議会議員 議員歴19年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	町内景気の活性化・町基盤産業の推進について	△	▲
	自然環境保全・汚染防止対策の推進について	△	△
財政	各施設の利用促進と円滑な管理運営について	△	△
	福島川改修工事の推進について	○	△
経済	温泉施設の円滑な運営管理について	△	△
	町有生産物のブランド化の推進について	▲	△
	町有林や森林林業事業の推進について	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	介護保険・在宅看護支援体制の整備促進	○	○
	少子化の中の教育行政の見直しと計画について	△	△
教育	社会教育生涯教育への専門的指導者の配置について	△	△
	食育における地産地消について	△	△
その他	学校における武道(相撲)の推進について	○	○

溝部幸基 66歳

議長、総務教育常任委員、渡島西部広域事務組合議会議員、
渡島廃棄物処理広域連合議会議員 議員歴34年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (総合計画条例に関する研修)	△	△
	行政情報の公開・共有の積極的推進	△	▲
	広域行政の連携推進	▲	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時間差出勤等)	△	▲
	防災対策の提言 (災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)	△	▲
	浄化槽(下水道整備)の普及推進	▲	▲
財政	財政健全化への取り組み (予算・決算審査・行政評価充実：基金有効活用)	△	△
	公共施設白書に関する研修(公共施設維持保全計画)	△	△
	退職手当制度の抜本的改善	△	▲
経済	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設	△	▲
	異業種連携による「福島ブランド」の開発	△	▲
	インターネット販売(地場産品)の推進 (町HPの積極的活用等)	△	▲
福祉	地球温暖化対策の提言 (リサイクル事業・生ごみ堆肥化・森林整備等)	△	▲
	「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節減	△	△
福祉	予防医療の推進	△	△
	在宅介護支援体制の整備	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	広範な分野(産業・福祉・生涯学習等)の人材育成基金創設	△	▲
	子どもや高齢者が積極的に参加する幅広い生涯学習の推進	▲	▲
	「子育て基本条例」制度に向けた取組み(情報収集・研修)	▲	▲
	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進	▲	▲
	学校給食で食育・地産地消の推進 (「食育基本計画」制定→情報収集・研修)	△	△
その他	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現 (議会基本条例の周知)	△	△
	活発な討議(討論)ができる議会の実現	△	△
	政策的な提案のできる議会の実現	△	△
	町議会議員選挙への供託金制度導入	▲	▲
	インターネット映像配信システムの充実(光回線の整備)	△	▲
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	△	△
	視察の積極的な受け入れ (北本市・泉南市・鴨川市・津山市・多治見市・美里町・野辺地町他 計15団体93名：6市8町村1大学)	○	○
ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)	△	△	
各種行事、研修への積極的な参加(活動日数244日)	○	○	

23 福島町議会だより

議員活動の目標（公約）（個人票）

目標期間：平成26年4月～平成27年3月

平沼昌平

分野	具体的な目標項目
行政	雇用の場の創出に向けての提言
	町民視点での行政運営推進に対する提言
財政	健全な財政運営と効率的な事務事業の推進に対する提言
経済	後継者育成と定住促進に向けての提言
	農林水産業に関する基盤整備と経営安定化への提言
福祉	町内のインフラ整備と建設・土木事業の推進への提言
	高齢者の生活環境整備とサポート体制への提言
教育	高齢者福祉の充実と将来的施設整備に向けた提言
	歴史・文化に対する町民意識向上と文化財の保護への提言
その他	生活習慣・基礎学力向上に向けた提言
	水道事業の将来的方向性と対応についての提言
	松前半島高規格道路整備推進に向けた提言
	防災体制の施設整備と環境整備の在り方について提言
	旧吉岡小学校周辺公共施設跡地利用計画に対する取組と提言

滝川明子

分野	具体的な目標項目
行政	防災の町づくりへ推進
	男女協同参画の推進
財政	住宅リフォーム助成を
経済	若者雇用の場づくりを中心に定住対策の推進
	特養ホームの増床
福祉	介護保険制度の適用改善
	ゆとらぎ館の建替を
教育	食育推進
	高校存続対策推進
その他	生涯教育・社会教育の充実
	議会基本条例に基づく活動の推進（活発な討議、討論）
	生活相談活動

木村隆

分野	具体的な目標項目
行政	第5次福島町総合計画事業計画への提言とそれに伴う、佐藤町政の町づくりの方向性の明確化
	平成25年度決算認定の対応（問責決議可決した佐藤町政の行政運営への扱い）
	防災無線の利用についての提言
経済	不可解な道の駅構想の更なる明確化
	企業誘致の方向性の明確化
福祉	旧吉岡小学校跡地利用問題の対応
	不可解な吉岡温泉の方向性の明確化
教育	試験運行が終わったデマンドバスの本運行に向けた検討
	町民プール利用料問題の明確化
	助成金政策（屋根の雪下ろし、企業振興条例など）の町民利用を図るための個人的なPR活動
	渡島西部広域議員としての議会対応や議員活動（小型家電リサイクル問題など）
	不可解な佐藤町政運営のチェックの強化
青年部活動を始めたとした所属団体の活動協力	
教育	昨年以上の自民党政権下におけるパイプ作り

佐藤孝男

分野	具体的な目標項目
行政	防災対策の推進（備蓄庫の建設）
	全町防災訓練の実施
財政	健全な財政運営の各事業へのチェック強化
経済	農業、林業、水産業の推進（鳥獣被害対策の強化・遊休農地の推進・ナマコ放流事業の継続・作業道の推進）
福祉	予防医療の推進
	ゴミ不法投棄防止提言
教育	学校給食センターへの地産地消への強化
	体験学習（食育）、福小・吉小 田植え等実施
その他	町内会活動への参画

花田勇

分野	具体的な目標項目
行政	行政・議会、町民との一体感がなかなか取れていないと感じており、三位一体になれるよう努力したい。
財政	平成27年度から始まる第5次福島町総合計画には町施設の改修等大きな問題をかかえており財政規律を守り、無駄が無い財政運営に努力する。
経済	一次産業や観光開発に対して努力していきたいが、それに対する支援を受ける事業者が真剣に受け入れ、実行してくれることに取り組みたい。
福祉	高齢化の進む中で介護支援者が多くなって来ます。今後も介護保険の財務が厳しいと思うので、財務内容をどうするかがテーマ
教育	学力向上のため、どう有るべきかと考えて、教育委員会（教育長を含め）学校側と、又、父兄と話し合いを多く持って努力すべきと思います。
その他	町民は議会（議員）に対して、福島を良くしてくれとよく言いますが、町民側も自分達が町を活性化するために行政・議会と一緒に努力すべきと考えて、努力します。

藤山大

分野	具体的な目標項目
行政	住民（町民）からの要望を政策提案
	安心安全な町を目指しての防災対策
財政	笑顔での行政対応
	財政健全化への取り組み
経済	町内景気の活性化と行政サイドのスピーディーな対応
	町が誇れる特産品アピール（するめ、昆布、しいたけ、古代米、味来、ブルーベリー、ナマコほか）
	観光活用による町内経済の活性化（千軒岳、横綱ビーチ、両記念館、温泉、岩部海岸ほか）
福祉	道の駅構想の今後のあり方と前向きな取り組み
	独居の方々の地域コミュニティ
教育	予防医療の推進
	新婚補助条例の制定への取り組み
その他	高校存続への努力
	部活動の強化、指導、支援
教育	ボランティア活動の参加
	伝統行事の存続と支援と参加（松前神楽、荒馬、四ヶ散米、奴、七福神ほか）
	未来を担う子供達の支援と指導

〔川村 明雄〕

分野	具体的な目標項目
行政	定住及び少子化対策への政策提言
	新計画施設等への財政、町興し等あらゆる面からの論議、提唱
財政	ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用の推進
	各施設の利用増加考察と収入維持対策への提言
経済	空き家の利活用や処理対策の推進
	「福島町ブランド」の考察展開と人材対応
福祉	少子化への対策と子育て支援問題への提言
	高齢者に住みやすいまちへの政策推進
教育	生涯学習及び人材育成推進対策
	福島高校存続対策の強化推進
その他	議会基本条例及びまちづくり基本条例に基づく活動と展開
	町内会活動及び団体活動への参画理解
	文化活動への参画、ボランティア活動の実践
	町民生活相談等への対応
	町内の美化及び環境問題の考察
	付加価値の高い一品の創設及び地産地消思考
	未来の魅力あるまちづくりへの提言、議論等
	各種研修会、講習会への参加

〔熊野 茂夫〕

分野	具体的な目標項目
行政	「総合計画条例」への推進・提言
	各公共施設の整備・改修への提言
	「総合防災計画」制定の推進と諸提言
財政	財政健全化の取組み (将来を見据えた予算編成への提言)
経済	水産業、農林業、商工業の振興のための諸提言
福祉	高齢者が利用しやすい公共施設の改修への提言
	介護保険とその健全な財政運営への諸提言
	国民健康保険会計とその健全な財政運営への諸提言
教育	教育環境の再編と充実のための諸提言
	小・中学生の基礎学力向上への提言
その他	生活環境の改善への提言

〔平野 隆雄〕

分野	具体的な目標項目
行政	町基盤産業の支援・町内景気の活性化
	自然環境保全・汚染防止対策
財政	福島川改修事業の推進
	町施設の利用促進・円滑な管理運営
経済	町内特産物のブランド化の促進
	町内起業家の育成、支援対策
福祉	健康な町づくりの推進・医療費助成
教育	給食を通じた食育と地産地消促進
	少子化の中の教育行政の見直し
	生涯学習の専門指導者の配置
その他	学校における相撲の推進
	吉岡温泉の円滑な管理運営
	横綱ビーチの利用促進

〔溝部 幸基〕

分野	具体的な目標項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (総合計画に関する提言・検証)
	行政情報の公開・共有の積極的推進
	広域行政の連携推進
	行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時間差出勤・研修等)
	防災対策の提言 (災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)
財政	浄化槽（下水道整備）の普及推進
	財政健全化への取組み (予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)
	公共施設白書に関する研修・退職手当制度の抜本的改善
経済	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設
	異業種連携による「福島ブランド」の開発
	インターネット販売（地場産品）の推進 (町HPの積極的活用等)
	地球温暖化対策の提言 (リサイクル事業・生ごみ堆肥化・森林整備等)
福祉	「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節減
	予防医療の推進
	在宅介護支援体制の整備

分野	具体的な目標項目
教育	広範な分野（産業・福祉・生涯学習等）の人材育成基金創設
	子どもや高齢者が積極的に参加する幅広い生涯学習の推進
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修)
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進
	食育・地産地消の推進 (「食育基本計画」制定→情報収集・実践計画・研修)
その他	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現 (議会基本条例の周知)
	活発な討議（討論）ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
	町議会議員選挙への供託金制度導入
	インターネット映像配信システムの充実（光回線の整備）
	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	視察の積極的な受け入れ
ホームページの充実（提案、情報発信、参加型）	
各種行事、研修への積極的な参加	